

お知らせ

平成17年3月11日

「皆生海岸景観評価システムに関する研究会 主旨説明会」
皆生海岸利用促進懇談会分科会の開催について



問い合わせ先

皆生海岸利用促進懇談会

事務局

国土交通省 中国地方整備局
日野川河川事務所

TEL 0859-27-5484

担当者

(技)副所長 松崎 恭久
工務課長 犬山 正

「皆生海岸景観評価システムに関する研究会 主旨説明会」 皆生海岸利用促進懇談会分科会の開催について

近年、良質な公共空間の形成、地域の価値の向上による地域住民の満足度の向上を目的とした、景観に配慮した社会資本整備が求められています。このことから、平成15年7月に策定された「美しい国づくり政策大綱」の施策展開では、「公共事業における景観アセスメント（景観評価）システムの確立」が位置づけられています。

一方で、景観アセスメント（景観評価）システムの確立に当たっては、景観に関する技術的な評価基準が確立されていないこと等の課題があることから、「国土交通省所管公共事業における景観評価の基本方針（案）」に基づき、直轄事業の一部を対象として景観アセスメント（景観評価）の試行を実施することとしており、日野川河川事務所管内については、皆生海岸施設改良が対象事業となっています。

そこで、日野川河川事務所では、海岸景観等に造詣の深い鳥取大学松原雄平教授と感性工学を用いた景観評価システムについて共同研究を実施することとしました。システム開発にあたっては、かねてより皆生海岸利用促進懇談会の場でいただいております海岸景観への要望等を景観評価に取り込むため、皆生海岸利用促進懇談会の分科会として研究会を立ち上げ、地域や利用者の代表となる委員の方々からの助言をいただくことといたしました。

設 立 目 的 : 研究会は、皆生海岸における景観評価を住民参加型で行い、地域住民の満足に資する景観整備を推進するための提案を行うことを目的とする。

研究会の開催経緯 : 研究会は、自然や景観を活用した海岸の利用を促進するための提案を行うことを目的として設立された「皆生海岸利用促進懇談会」の分科会として開催され、本日は主旨説明会となる。

「皆生海岸景観評価システムに関する研究会 主旨説明会」
- 皆生海岸利用促進懇談会分科会 -

- 議事次第（案） -

日 時 : 平成17年3月15日（火） 15 : 00 ~ 17:00

場 所 : かんぼの宿皆生

1. 開 会

2. 議 事

(1)主旨説明

(2)皆生海岸の変遷について

(3)皆生海岸の景観について

(4)皆生海岸ならびに皆生温泉街のコンピューターグラフィックス（CG）
のプレゼンテーション

(5)今後の予定

3. その他（連絡事項・意見交換等）

4. 閉 会

皆生海岸景観評価システムに関する研究会名簿（案）

- 皆生海岸利用促進懇談会分科会 -

松原 雄平（鳥取大学工学部土木工学科教授）

柴野 憲史（皆生温泉旅館組合組合長）

宇田川富美江（皆生温泉女将さん会会長）

武良 賢治（米子市漁業協同代表理事組合長）

杉本 良巳（米子郷土歴史家）

野嶋 功（鳥取県トライathlon協会事務局長、皆生ライフル・ヒッパトリー倶楽部理事長）

永井 麻美子（米子市立福生西小学校教諭）

福景 順一（福生西連合自治会長）

谷口 真澄（鳥取県米子地方県土整備局長）

杉本 朗（米子市経済部長）

中井 俊一（米子市建設部長）

茅原 伸喜（国土交通省日野川河川事務所長）

アドバイザー 白木 渡（香川大学工学部信頼性情報システム工学科教授）

田中 章（武蔵工業大学環境情報学部環境情報学科教授）